

令和 6 年度 第 1 回愛西市総合教育会議 会議録（概要）

会 議 名 称	令和 6 年度 第 1 回愛西市総合教育会議
開 催 日 時	令和 7 年 3 月 2 6 日（水）午前 1 0 時から午前 1 1 時 1 0 分まで
開 催 場 所	愛西市役所 北館 3 階 災害対策本部兼会議室 1 ・ 2
市 長 名	日 永 貴 章
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	なし
公開・非公開	公開
傍聴人の数	なし
議 題	（１）愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画の進捗状況について （２）いじめ・不登校の現状について （３）その他
会 議 経 過	別紙のとおり
会 議 資 料	次第 資料 1 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画の令和 6 年度進捗状況 資料 2 いじめの現状について・不登校児童生徒の状況について 総合教育会議 配席図
会 議 録 の 確 定	
確 定 年 月 日	署 名
令和 7 年 4 月 1 5 日	署名者
	愛 西 市 長 日 永 貴 章
	愛西市教育委員会 杉 方 南 衣

1. 愛西市総合教育会議設置要綱第3条に基づく出席者

役 職	氏 名	備 考
市 長	日 永 貴 章	
教 育 長	河 野 正 輝	
教 育 委 員 会 委 員	杉 方 南 衣	職務代理者
〃	水 谷 朋 和	
〃	大 竹 節 雄	
〃	難 波 知 里	
〃	水 谷 芳 廣	

2. 出席した職員

役 職	氏 名	備 考
副 市 長	清 水 栄利子	
(市長部局事務局)		
企 画 政 策 部 長	西 川 稔	
企 画 政 策 部 参 事	澤 井 勇一郎	
企画政策部経営企画課長	井戸田 悦 孝	
企画政策部経営企画課	若 松 孝 志	
〃	東 山 祐 佳	
〃	富 田 智 美	
(教育委員会事務局)		
教 育 部 長	佐 藤 博 之	
教 育 部 次 長	飯 田 裕 子	
教 育 部 学 校 教 育 課 長	伊 藤 光	
教育部生涯学習スポーツ課長	大 原 守 人	
教育部学校教育課主幹	伊 藤 昭 良	
教 育 部 学 校 教 育 課	坪 井 靖 史	
〃	祖 父 江 悠 里	

会 議 経 過

発言者	内 容
市 長	開会 1. あいさつ
市長	それでは、議事を進行する。円滑な進行にご協力をお願いする。
市長	2. 協議事項 (1) 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画の進捗状況について 議題(1)を議題とし、事務局より説明をお願いする。
事務局	(資料1について説明)
市長	今年度の活動状況と来年度の予定について説明をいただいた。何かご発言があればどうぞ。
副市長	この4月から津島高校附属中学校が開校し、地元の子どもたちにとっては清林館中学校に加え、進学の実選択肢が増え望ましいことではあるが、一方では愛西市立中学校の生徒数を確保することも重要であると考えている。昨年の総合教育会議においても今後の推移を注意深く見ていく必要があるとされているが、この4月以降、市内の児童で愛西市立中学校以外の中学校に通う生徒はどれくらいか、教育委員会で把握されていれば教えてください。
事務局	令和7年度の新入学の見込みとして、津島高校附属中学校に12名、清林館中学校に10名、その他の私立、国立中学校に8名の合計30名が愛西市立中学校以外の中学校に通う予定となっている。令和7年度の愛西市立中学校への新入学は409名となっている。過去の愛西市立中学校以外の中学校へは令和6年度が25名、令和5年度が14名である。
副市長	30名の生徒が市外の中学校へ通うとお聞きしたが、こうした状況について教育委員会としてはどのようにお考えか。
教育長	子どもたちや家庭にとって、小学校6年生時に進路の実選択肢が増え、未来の夢の実現へのステップを踏むために努力が出来る教育環境が整うことは当然、否定すべきものではない。 高校に目を向けると、高校の授業料無償化が現実のものになれば、公立王国と呼ばれる愛知県でも、ただでさえ少子化で県立高校では募集生徒数を削減して、ある程度の受験倍率を保っているものの、校舎等の施設設備に恵まれた私立高校に東京や大阪のように生徒が流れ、県立高校

	の統廃合が進むことが考えられる。当然、その先には、中学校にも影響が及び、私立中学校や通信制の学校への進学者の増加が予想される。それでも、地元の学校への通学を最優先する家庭も多くあると信じている。 地域の教育資源を生かした地域連携教育や、出前授業の取組は地元の愛西市立中学校だからこそ展開できる学びである。保育園、幼稚園、そして小学校を経て、繋いできた仲間意識を大切に育みつつ、幼馴染、母校を大切にし、愛西市立の中学校で学び、卒業できてよかったと言ってもらえるような学校づくりに鋭意努力していきたいと考える。 教育委員会としては、毎年、市内 18 校を学校訪問して授業の様子を見る機会がある。教育委員会委員、事務局とともに魅力ある学校経営に良き助言ができるよう努めていきたいと考える。 また、毎月、校長を集め、市の校長会や連絡調整会を行い、協調して愛西市の教育を進めて行くことができる。このような連携した教育環境があるのも大きな利点だと考える。
市長	津島高校附属中学校と清林館中学校は、生徒を集めるために学校において説明会をやっていると思う。愛西市立中学校は、保護者に魅力を伝える活動は、今まであまり力を入れてこなかったと思う。愛西市立中学校に通っていただきたいという思いがあるのであれば、今後は教育委員会として仕掛けをしていかないと、津島高校附属中学校と清林館中学校の P R が続けば、そちらに魅力を感じて通われてしまうことが考えられる。何か取り組みはされるのか。
教育長	新たな建物で新たな学校を開校したのに対し、愛西市立小中学校は、コロナ禍の大きなダメージを受け保護者や教育関係者が学校に来る機会がなったということで同じ土俵に乗せるのは難しい。 まずコロナ禍以前のように学校に来ていただく、保護者に子どもたちの成長を見ていただいて、子どもたちの交友関係を見ていただいて、P R をして進めていければと思う。助言ありがとうございます。
市長	他の公立高校で中等部を創設されるところはあるか。
教育長	中高一貫校では、今のところ令和 7 年度 4 月開校が 4 校、次年度が 4 校でそこで計画はストップしていると把握している。
市長	そういった情報をしっかり、早めにキャッチしていかないと我々が取り組むべき施策が変わってくると思う。新聞報道でも中高一貫校が取り上げられていたので市としても注視して、情報収集は早くキャッチしていただきたい。
副市長	令和 7 年度から、愛知県教育委員会から主導主事を 2 名から 3 名に、

教育長	更に1名追加して派遣いただくことになる。このお一方は他の2名と違い、全額市の一般財源でお越しいただくことになる。この基本計画の推進に携わっていただくことになるが、どのような役割を担う予定か。 まずは指導主事を始め、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の配置にあたって、市長部局には、深いご理解、ご配慮いただき厚くお礼申し上げます。 県教育委員会との協議の上、市町村指導主事の採用が認められた。採用の理由は、愛西市教育委員会では、愛西市立小中学校の適正な規模等の検討並びに老朽化対策を進めている、また、令和10年度を目途に、休日の部活動地域展開を目指している。市教育委員会と関係学校、関係機関、地域と連携し、市内小中学校の再編と部活動の地域展開を円滑に進めて行くため、指導主事を設置するとしている。 指導主事の職は、愛西市教育委員会学校教育課主幹とし、職務としては、1つ目に小中学校再編に関する諸課題の調査検討及び計画実施に関すること。2つ目に、部活動の地域展開に関する諸課題の調査検討及び計画実施に関すること。3つ目にICT教育に関することとしている。 適正規模化のコーディネーターとしても活躍してもらおう。基本計画の初年度が3月27日のB中学校準備委員会をもって終了する。すでにA中学校準備委員会では中間報告書が出された。教育委員会からの諮問に対する報告が次年度まとめられていく。それと並行してA・B両中学校準備委員会が出された自転車通学の規約づくり、部活動の合同チーム、バス通学、図書館・相談室のあり方、校則のすり合わせ、年間行事計画のすり合わせなどの多くの意見を具現化するための資料づくりや案づくりに学校教育課職員の一員として、愛西市内の現場での教務主任を務めた経験を活かして積極的に職務にあたってもらいたいと考える。 また、統合校間の交流活動の計画作成・実施を進めてもらう。 なお、指導主事には職務に示したように部活動地域展開のコーディネーター役、そしてICT教育の推進役も務めてもらう。教育部の職員の業務を助け、少しでも職員の負担軽減になればと思っている。
副市長	新しい指導主事に部活動地域移行について担当していただくという話があったが、令和7年度の部活動地域移行をどのように進めていく予定か。
事務局	部活動地域移行について、令和5年度から令和7年度までの3年間で文部科学省が改革推進期間として地域移行が進められている。愛西市の方向性としては休日を中心に部活動指導員を配置し、休日における部活動の開始を目指したいと考えている。令和7年度は、6中学校に14の部活動で部活動指導員の配置を予定している。 また、新しい指導主事には、部活動指導員をサポートし学校間の連絡・

	調整、課題解決の手助けなどについて、部活動地域連携の中心的役割を担っていただく部活動コーディネーターとして活動していただきたいと考えている。
市長	津島高校や清林館の中等部は、部活動をするか。
教育長	津島高校附属中学校においては、部活動は行わない。行わなくてもよいと説明があった。通常中学校の授業は6時間であるが7時間設定とし探究的な学習を進めていくため、部活動やる時間が見いだせないという理由を挙げられていた。将来的には考える余地があるような話をされていた。
委 員	清林館中学校も部活動の時間を確保していないような話を伺っている。
市長	また情報がありましたら、お願いします。
副市長	教育委員の皆さんは、それぞれ準備委員会にオブザーバーとして参加されているということで、委員の話を聞いたり、統合した学校への視察に行かれたりしたと伺っている。新しい小中学校では、このような教育を行って欲しいといったような、特にソフト面において何か印象に残った準備委員の発言や視察で得られた参考になることがあったらお聞きしたいと思う。
委 員	A中学校仮称準備委員会のオブザーバーとして参加している。2回準備委員会があり、1回目の印象が皆さん積極的に発言されていて、今後できるであろうA中学校仮称のことを考えて今から頑張りますという出陣式的な感じで進んだ。2回目では、3つの部会に分かれてどこの部会に参加してもいいと協力的な部会として発足している。部会では多くの意見が出されていたようで、それをまとめて先日の準備委員会でお聞きすることができた。せっかく新しく学校ができるので、それまでの期間を有効に活用して、解決できること、スムーズに開校を迎えるための課題を一つ一つ丁寧に審議して充実させていくことができるのではないかなと思う。学校の環境がそれぞれ違うので、学校間のすり合わせや細かい相違点の埋め合わせ等々、話し合いを続けていく中で色々な課題が出てくるので、それを話し合いながらすり合わせていくことを、まずはやっていきたいと思いますということが多かったと思う。 3つの部会の中の施設・通学路部会では、中学校までの通学時間が長く、中学生は想像もつかないような道を通ってしまうので、安全・安心のために、どうしていくべきか。中学校ではスマートフォンの持ち込みが禁止されているし、部活動で下校が遅くなった時に、保護者が安心を

	得るために、GPSが使えないだろうか、という話がとても印象的だった。難しい意見であると思うが、スマートフォンでないGPSが使えるようになると、通学路に関することでは1つ課題が解決できるのではないかと思う。 地域課題部会では、地域とのつながりが希薄するのを心配されていた。PTAが大きく変わる時代になってきたので、PTAにこだわらずに地域と学校との繋がりを取り上げて検討していく、大きな課題ではないかと思う。 一人一人から意見をお聞きする機会があり、来年度もしっかりと計画的に進めていくために、積極的に協力していくという声をたくさん頂けたので、来年度も充実した準備委員会になると思う。
委 員	B中学校仮称準備委員会のオブザーバーとして参加している。第2回はこれからで、第1回はこの会をどのように進めていくのかが中心だった。具体的に教育活動をどのように進めていくかというソフト面の話は聞かれなかった。 現在の学習指導要領のキーワードは、個別最適な学び、協働的な学び、主体的な探究活動である。こうした教育活動をより効果的に進めるために、適正規模化等を進めていると考えている。 市で素早く環境を整えていただいたGIGAスクール構想は、ICT機器の効果的な活用も大きい要素であると思っている。2027年に新しい学習指導要領が出てくる予定で、新学習指導要領の趣旨を踏まえつつ、学校、地域の特徴を活かす教育活動を計画し、推進していくことになると思うが、そのために教育委員会、学校では、新しい中学生の学習活動をよりスムーズに進めるには、どうしたらいいか、学校を支える保護者のPTA活動をどうしていくのか、検討していく必要があると思っている。 市長部局の関係では、通学路の安全確保の問題、愛西市防災ハンドブックが作成されているが、そこでは指定避難所が学校になっている。廃校になる予定の小中学校の取扱いがどのようになっていくのかは、色々なところで聞かれている。 もう1点、新しい学校を支える地域コミュニティづくりですが、民生児童委員協議会は旧町村で行われている。今後、中学校区が旧町村を跨いで考えられるので、中学校区をベースにした地域協働の取組を検討していただく必要があると思う。そうした中で地域のコミュニティが作られて、地域の特徴が出て、新しい学校に活かせるのではないかと思う。
委 員	A中学校仮称準備委員会のオブザーバーとして、B中学校仮称準備委員会との合同の瀬戸市立にじの丘学園の視察に参加した。 視察後に準備委員会があり、委員から意見等を含め194点の検討項目の報告があった。事務局としては大変な作業量になるので、優先順位を

委 員	付け関係者と協議をして計画的に対応をお願いしたいと思う。また、進捗状況については、回覧等で情報発信されていると思うが、継続をお願いする。 にじの丘学園の視察について、校舎全体が明るくて風が通り木材を多く使用しているので、温かくぬくもりを感じられ子どもたちがストレスなく過ごせる環境に思えた。愛西市の子どもたちにもこのようなすばらしい環境で学ばせてあげたいと感じた。施設では苦勞した点を聞かせていただき、教員が細かく相談相手になっているということであったので、準備委員会で話していただければいいと思う。 佐屋小学校老朽化対策準備委員会にオブザーバーとして参加している。 教育活動というよりは、防災面、有事の際の避難所としての機能というところに、意見、質問が多く挙がっている。地域の核としての機能、防災拠点としての機能を持ち合わせた学校づくりの意見が多く聞かれている。その中で子どもたちも地域と一緒に防災訓練をしたり、日々の防災意識が持てるような学校づくりができればいいのではないかなと思う。 また、にじの丘学園での視察では、施設面が中心の話になるが、フルオープンな教室であったり、フリースペース、子どもたちが通るところに図書スペースがあり、多様な授業形態に対応していたり、子どもたちが必然的に書物に目がいく工夫であったり、主体的に学びたくなるような工夫がたくさんされていた学校だと言う印象である。一方で、静かで落ち着いた、個、独りを大切にする空間が作られていて、どの子どもがその子のペースで一人一人が安心して学校に通えるところが愛西市の学校づくりでも目指していければと考えている。
委 員	B中学校仮称準備委員会のオブザーバーとして参加した。会議は緊張感があって建設的な意見が多く積極的に意見を出されて、関心の強さが分かった。特に生徒の通学路について安全対策について意見があり、努力して考えていく必要があると思った。 新しい中学校では第1に、生徒にとっても先生方にとっても居心地が良い学校であって欲しいと思う。 新しい中学校が地域の中心施設になって、皆が集う場所であつたらいい。例えば、市の図書館の機能の一部を図書室に入れるとか、コミュニティ会議を学校で行うとか、出前講座や各種講演を学校で行うとか、新しい学校では、地域の核になればいいと思っている。
市長	(2) いじめ・不登校の現状について 非公開 (資料2に基づいて事務局から説明後、いじめ・不登校の現状について議論)

市長	(3) その他 2026 年に愛知・名古屋アジア競技大会が開催される。愛西市は、教育委員会生涯学習スポーツ課が担当を担っている。この大会を盛り上げていく 1 つのきっかけとして、県においてはボランティアの募集が始まっている。愛西市では、競技会場として長良川国際レガッタコースで競技と練習が行われ、また、親水公園体育館は、練習会場として設定されている。大会期間は、2026 年 9 月 19 日（土）から 10 月 4 日（日）までの 16 日間。 大会の練習にあたりボランティアを 200 名ほどの募集をしており、一般募集の期間が今年の 4 月 30 日まで、1 日だけでもボランティアはできるので、多くの皆様に参加・協力をいただきたい。 閉会
----	---